

社会的処方×DX×政策提案

社会的処方で木古内町を元気に

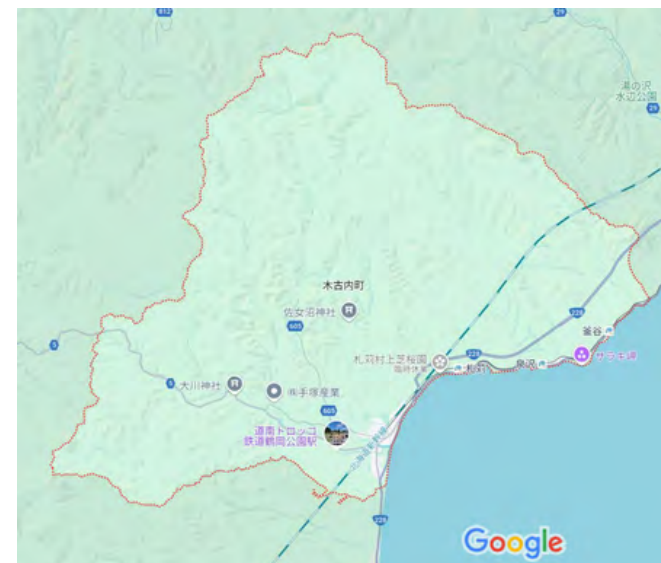


本間朱音・川瀬海歌・山田真央・早助未咲
村越友・岩田篤季・松浦陽希・内田琉久

木古内町とは？

北海道の最南端、渡島半島に位置し 各地にアクセスする交通の分岐点となる町

- ◎木古内町は人口約3500人の小さな町
- ◎森林面積が89%で、細長い居住区が特徴
- ◎津軽海峡をはじめとする豊かな自然に囲まれ、農業・漁業・林業が営まれている
- ◎北海道の南部に位置しているため、夏、涼しく、冬、寒すぎない
→1976年からの観測史上、猛暑日（気温35度以上）の記録なし
- ◎高速道路のインターチェンジや北海道新幹線の駅があり、交通利便性が高い
- ◎歴史的事実を題材としたイベントなどが開催されている
→幕末に活躍した帆船「咸臨丸」をテーマとした「きこない咸臨丸まつり」
→天保2年（1831年）から続く、1年の豊漁豊作などを祈願する「みそぎ祭り」



木古内町の課題（高齢化）



日本の高齢者割合

65歳以上は29.1%

そのうち75歳以上は16.1%

北海道の高齢者割合

65歳以上は33%

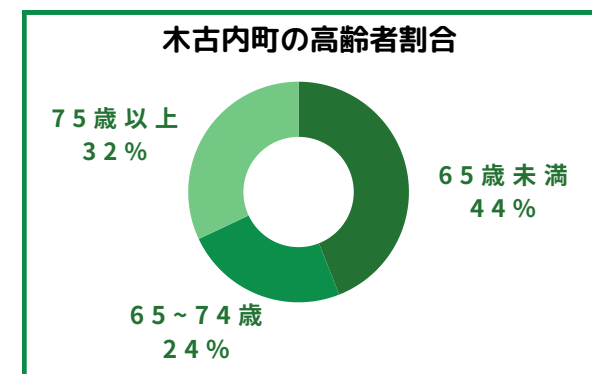
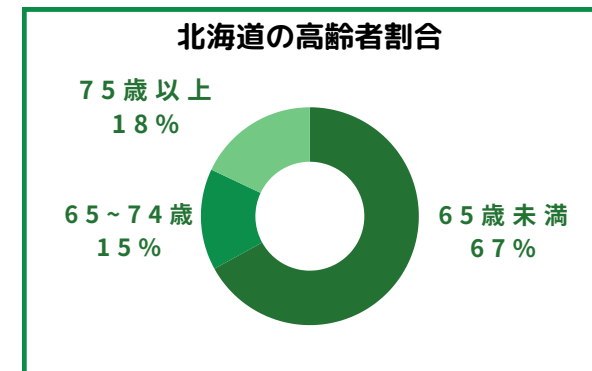
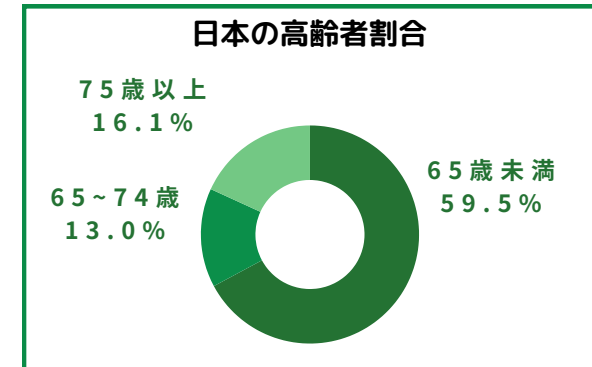
そのうち75歳以上は18%

木古内町の高齢者割合

65歳以上は56%

そのうち75歳以上は32%

木古内町では、**住民の半分以上が高齢者**であり、
高齢化が進んでいる



木古内町の人口の推移



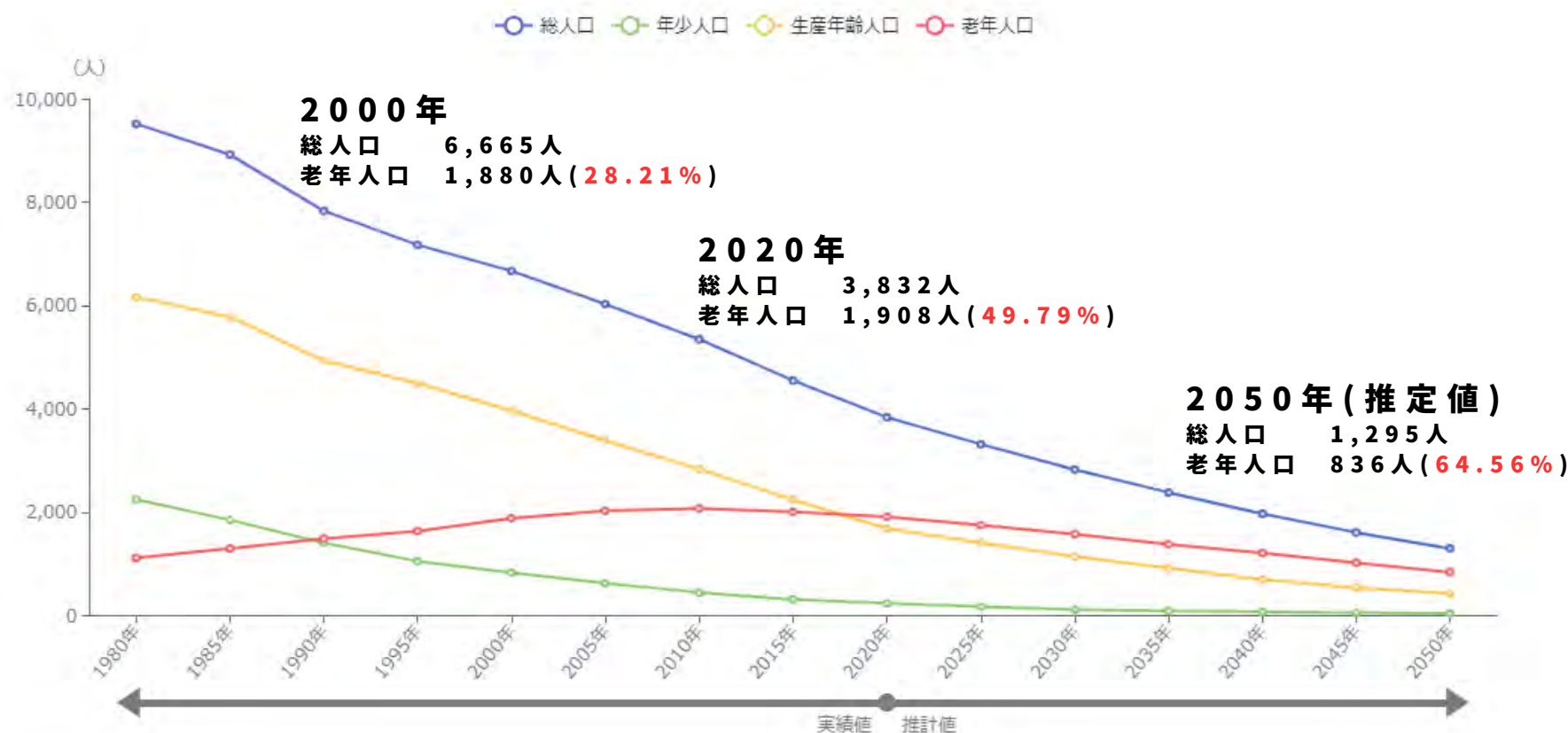
高齢者割合

老年人口60%越えの超高齢化地域に

木古内町の人口は毎年減少を続け、2000年から2050年の50年間で約1/5にまで減少する見込み
老年人口割合は増加を続け、2050年には町の6割以上が高齢者となる予想

人口推移グラフ

北海道木古内町



木古内町の介護状況



高齢者割合



介護費用

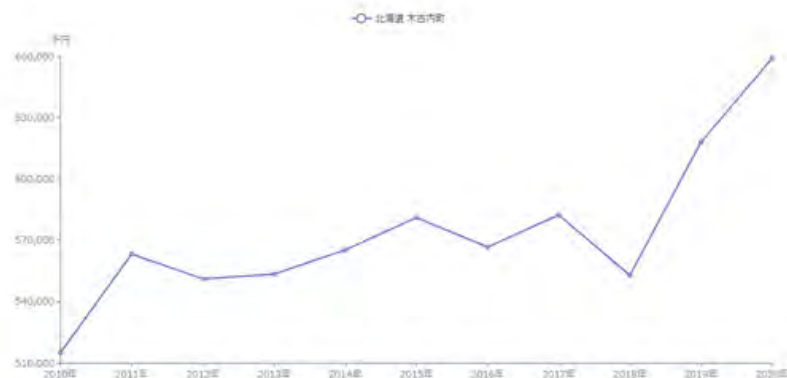
一件当たりの介護給付費が国・道より高い

	木古内町	国	道	同規模
計 一件当たり給付費 (円)	75,446	59,662	60,965	80,543
(居宅) 一件当たり給付費 (円)	40,754	41,272	42,034	42,864
(施設) 一件当たり給付費 (円)	311,745	296,364	296,260	288,059

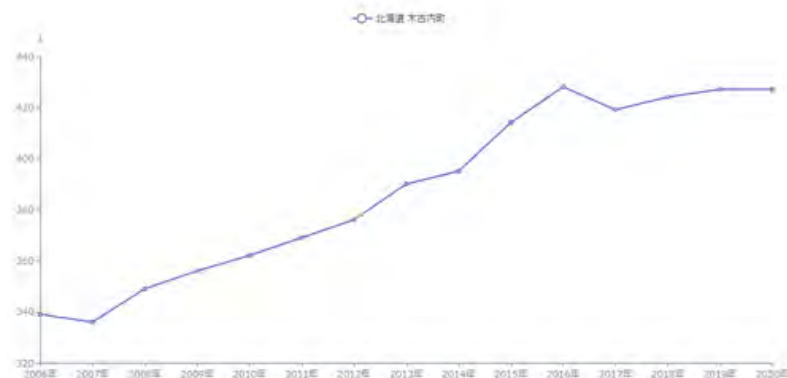
厳しい介護の現状

木古内町の介護費用は2018年から2020年の二年間で跳ね上がり、介護を必要とする人も右肩上がりに

介護費用（実数）の推移
北海道木古内町（木古内町）
すべての大分類・すべての中分類



要介護（要支援）認定者数（実数）の推移
北海道木古内町（木古内町）
すべての分類



出典：厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」

木古内町 第2期 国民健康保険データヘルス計画 第4期 特定健康診査等実施計画

https://www.town.kikonai.hokkaido.jp/files/00005200/00005276/kikonai2datahealth_1.pdf

木古内町の課題(DX)



DXとは、地方の経済や住民生活を向上させるために、デジタル技術を導入して地域全体を変革する取り組み



木古内町では、チャリティーイベントのチケットを手売りしていたり、公共施設の利用者記録を紙で行っていたりと**DX化が進んでいない**

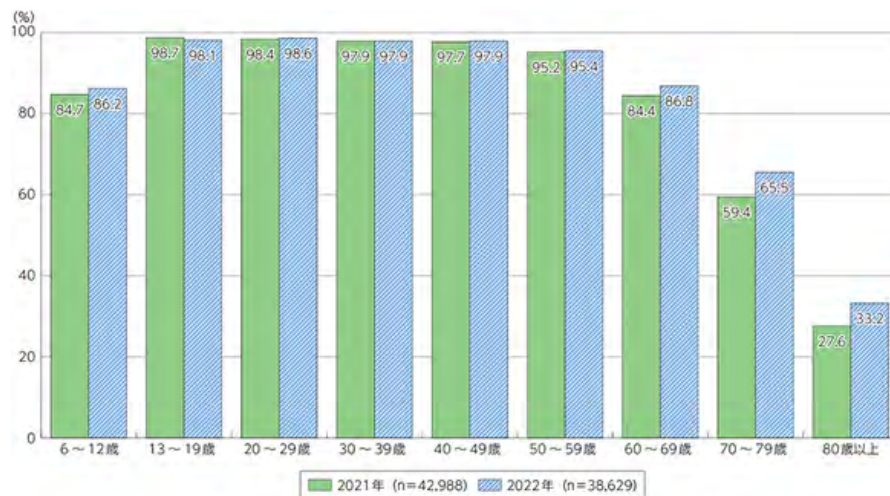
施設のDXを進めるには町民の理解と興味が必要!!

木古内町の課題(DX)

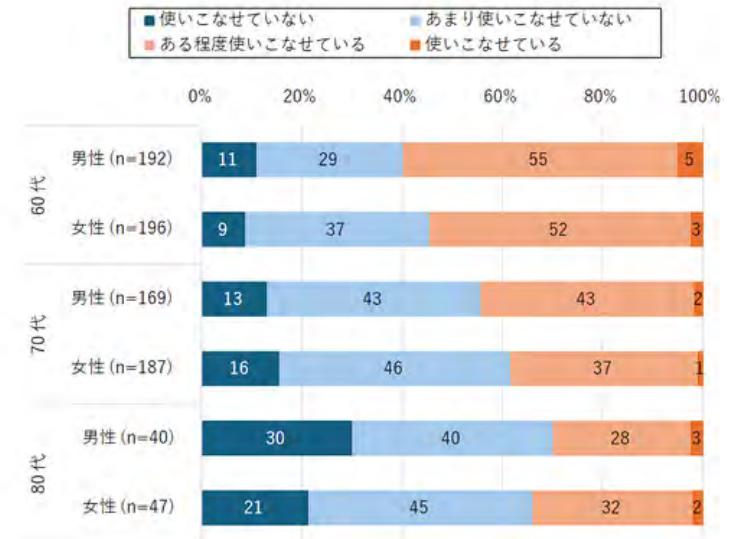


しかし！

年齢階層別インターネット利用率



スマホを使いこなせているか



高齢者割合が高い木古内町は
デジタルデバイスへの理解、関心が低いと考えられる

出典：総務省「情報通信分野の現状と課題」

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r05/html/nd24b120.html>

モバイル社会研究所「70代約6割、80代は約7割がスマホ使いこなせていないと実感」

<https://www.moba-ken.jp/project/seniors/seniors20240808.html>

社会的処方×DXで木古内町を元気に！

社会的処方とは？

人を活動・人物などにつなげ、健康増進や生活の質・ウェルビーイングの向上を目指す取り組みのこと

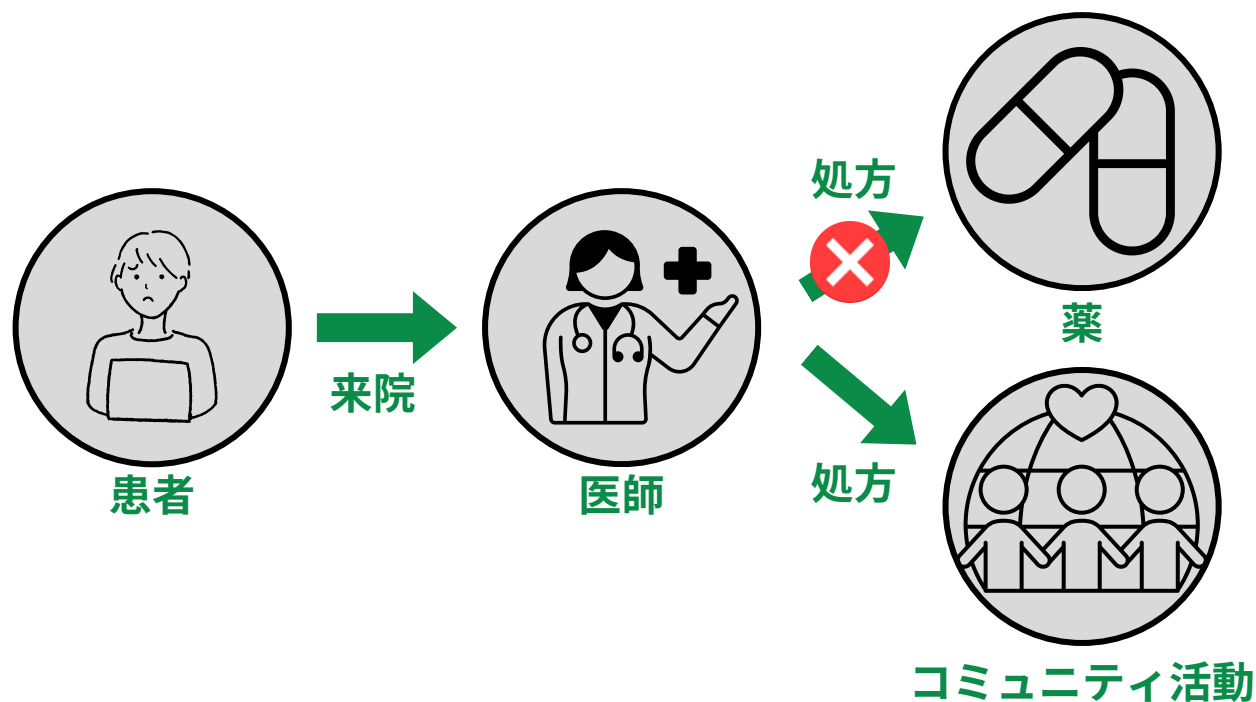
高齢化が進んでいる・介護費用が高い・DX化が進んでいない
これを社会的処方×DXで解決できる



社会的処方とは？

社会的処方の流れ

病気の患者に地域のサークル活動やコミュニティ活動など、**薬ではなく社会参加の機会を処方**し、生活環境を変え、病気の原因を取り除く



薬の代わりに人との繋がりを処方する！

先行事例

イギリスの事例

リンクワーカーとは？

医療従事者から依頼を受け、患者を社会参加につなげる仕事を担う人

イギリスのPontefractという人口約3万人の町では、利用者の要望に合わせ、地域のレクリエーションを行うクラブや住民団体を紹介する組織「Health and Wellbeing Development Team (HWDT)」と協力して社会的処方を実施

01

情報を渡す

医療機関からHWDTに連絡し、患者の基本情報とニーズを伝える。その情報を担当のリンクワーカーに渡す。



02

自宅訪問

リンクワーカーは患者に連絡し、自宅を訪問する。住環境をチェックし、患者のニーズを包括的に把握。



03

サービスへ紹介

把握したニーズから、適切なサービスへ患者をつなぐ。そして6週間後、3か月後にフォローアップし、再評価。

先行事例

日本の事例

兵庫県 養父市

兵庫県養父市には社会的処方推進課がある

社会的処方推進課では、社会的処方の概念をまちづくりに取り入れ、社会との

『つながりで誰もが健康になるまちづくり』を目指している

“つながる先・つなげる先、地域コミュニティ・社会資源マップ”を見える化した
社会的処方ポータルサイト「つながる DAY YABU」を2022年に開設

活動内容

○絵手紙教室

○ふれあい喫茶「愛宕の夢」

○大正琴 養父教室

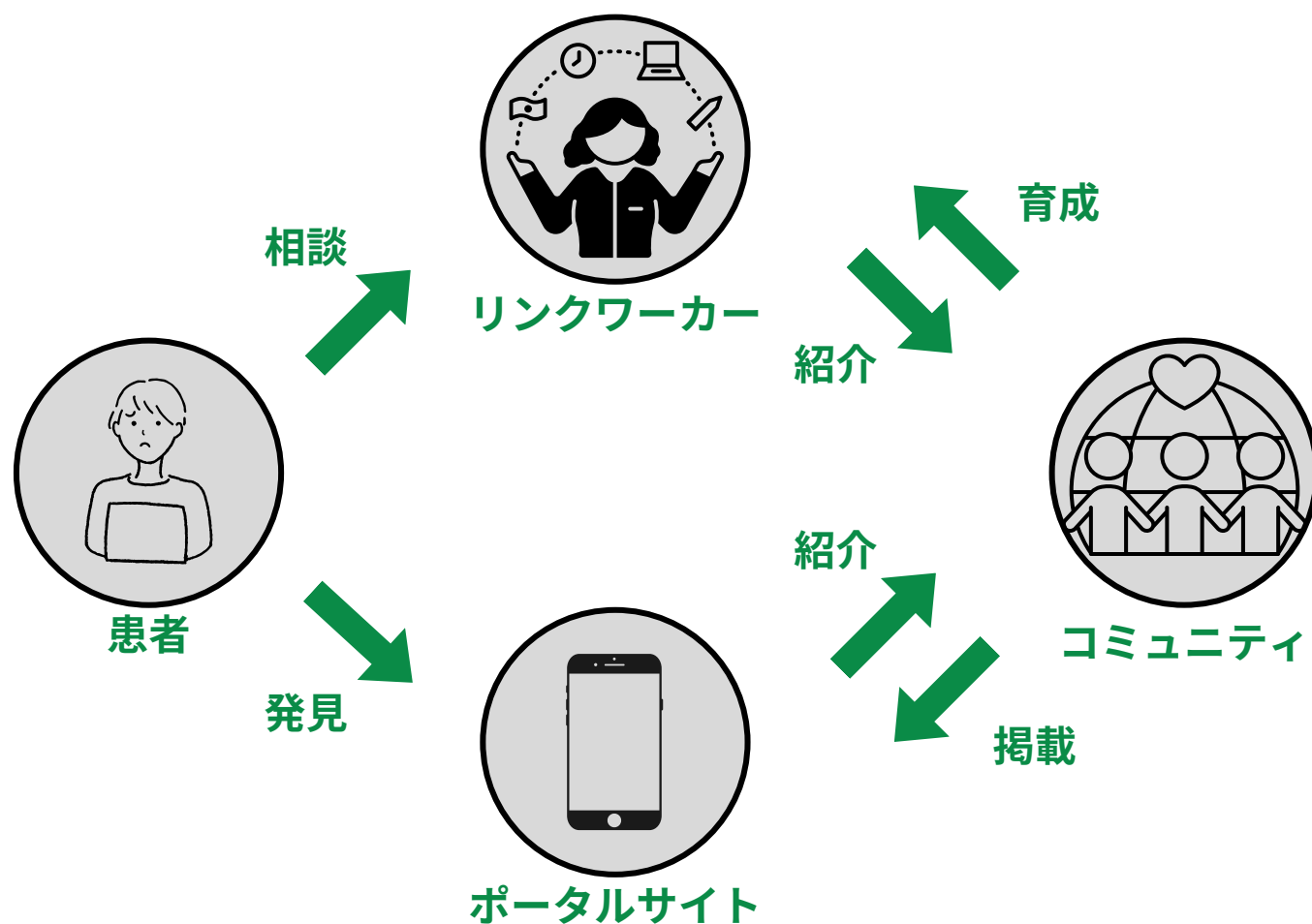
○みふね会館 書道講座 など



出典：社会的処方ポータルサイト「つながるDAY YABU」

<https://tsunagaruday-yabu.jp/>

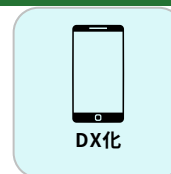
私たちの提案する「社会的処方×DX」



デジタルデバイスに対する理解や関心を持ってもらうためにポータルサイトを利用してもらいたい

DX化に向けた準備段階の取り組みを行いたい

木古内町の取り組み（DX化）



木古内町DX推進計画を策定し、DXの推進に取り組んでいる

基本理念

デジタル技術の活用による快適で便利な暮らしを実現し、誰一人取り残されない、地域幸福度（Well-Being）日本一のまち、木古内町

①町民のためのDX

デジタルに不慣れな人も誰一人取り残すことなく、みんなが幸せを得られるDXを目指します。

②みんなで取り組むDX

まちのありたい姿の実現に向けて、町民や地域の事業者、行政が一体となり、まちに新たな価値をもたらすDXを目指します。

③みんなで挑戦するDX

変化を恐れず、多様な価値観や発想からイノベーションを創出し、DXを活用した持続可能なまちづくりに挑戦します。

教職員向け生成AI合同研修会

- この研修会の目的は、生成AIの基礎知識を学び、授業や校務への導入を検討

みなみ北海道ドローン利活用推進協議会の発足

- 地域の住民とドローンの関連企業とが連携・協力し、ドローン産業を推進

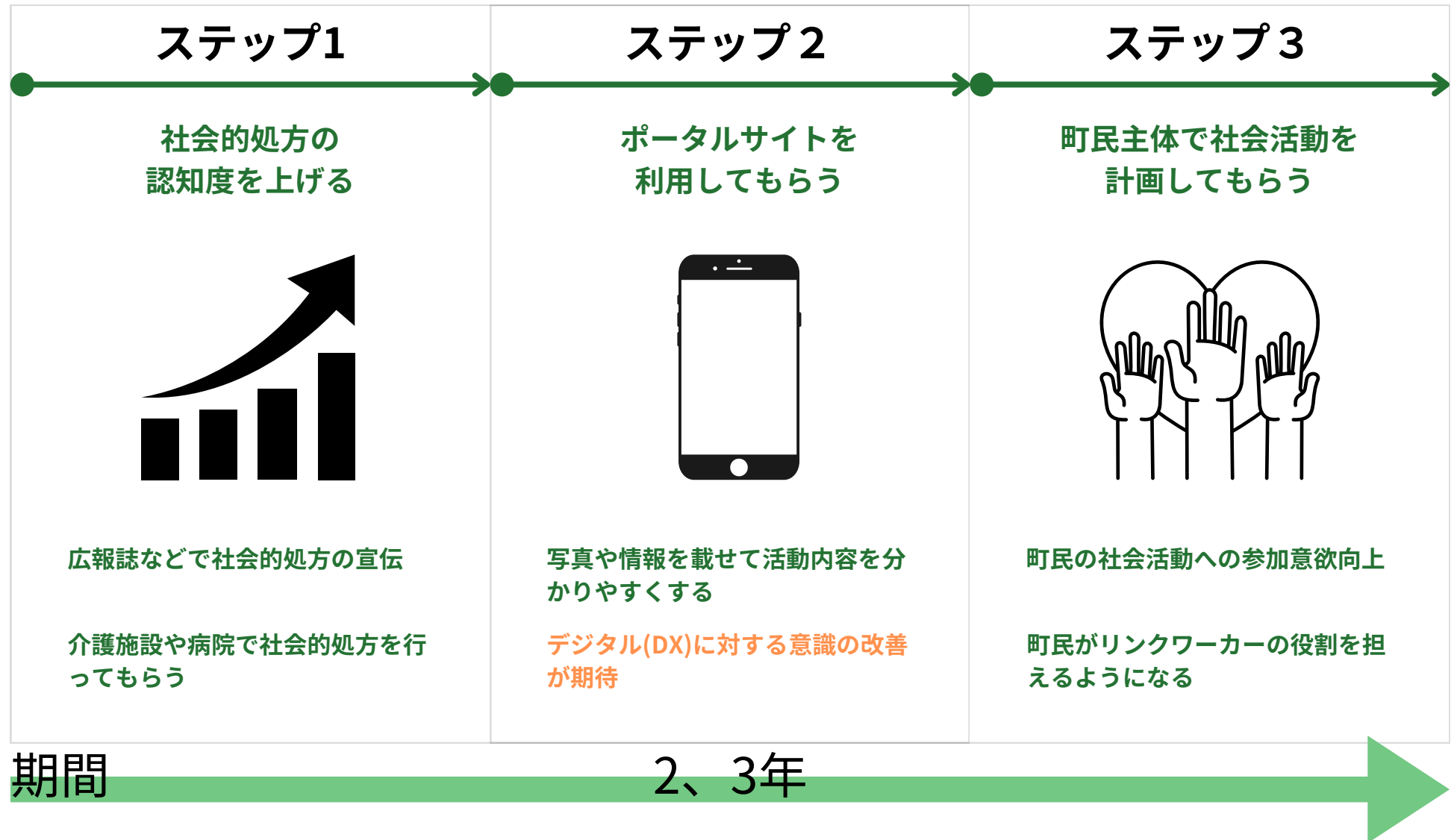
DXに関する取り組みがすでに行われつつある

出典：木古内町DX推進計画＜概要版＞

<https://www.town.kikonai.hokkaido.jp/files/00005100/00005101/%E6%A6%82%E8%A6%81%E7%89%88.pdf>

政策提案

「社会的処方×DX」を木古内町に根付かせる流れ



必要なリソース

人材

兵庫県養父市では、医療介護福祉専門職向けにリンクワーカー養成研修を、地域住民向けに「コミュニティコネクター研修」を実施し、人材を育成
将来的には、木古内町でも地域包括センターや木古内町役場、専門職、地域住民にリンクワーカーとしての役割を担ってもらう

経費

小規模のポータルサイトの制作費用の相場は50～150万円
制作会社に委託する場合の運用・保守費・レンタルサーバー代は月額1万円～10万円前後が相場

設備

木古内町公民館などの公共設備
プールやテニスコートは無料で使用可能

政策提案

仕組み

例) 生きがい教室（従来）

高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし、要介護状態にならないための木古内町で開催している健康づくり教室

- ・ 年に6回開催
- ・ 65歳以上が対象
- ・ 定員数は20人だが定員に達していない現状
- ・ 参加申し込みは電話
- ・ 広報誌のみで宣伝

社会的処方×DX

ポータルサイトで町民の要望を集める



町民の要望に合わせ、開催場所や回数、活動内容を設定

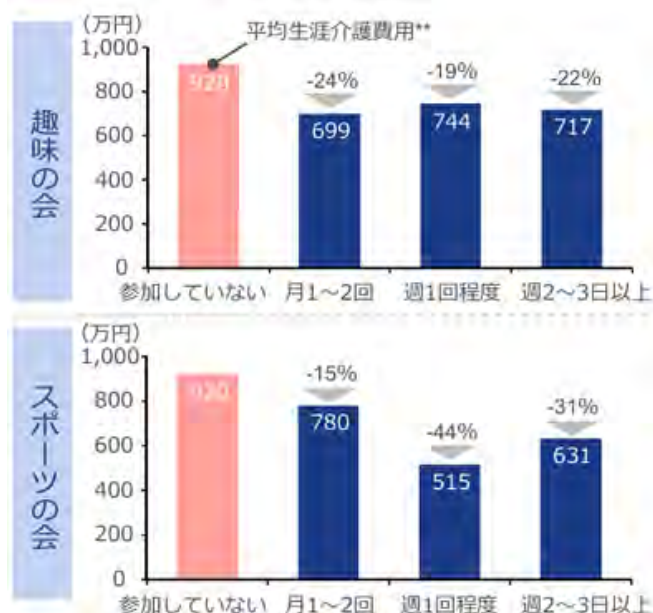


町民に寄り添う社会活動を実現

宣伝はポータルサイト上と広報誌、チラシなどで行う

要望を集めて実施するという流れは別のことにも活用可能

政策で期待される効果



社会的処方の可能性

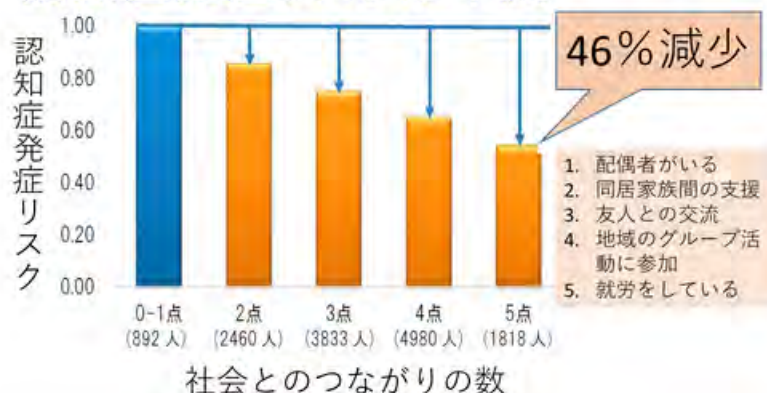
内閣府の調査によると月1回以上の社会参加で、平均生涯介護費用が15~44%程度削減できる！



Saito T, et. al., J Epidemiol Community Health, 2018; 72(1):7-12.
doi: 10.1136/jech-2017-209811.

13984名を9.4年追跡

社会との多様なつながりがある人で認知症発症リスクは半減



社会との多様なつながりがある人ほど認知症のリスクが減る！



社会的処方の可能性

RESASより2020年度の木古内町の介護費用は**6.6億円**

ここから15~44%の削減が期待されるので

$$6.6\text{億} \times 0.15 = \mathbf{0.99\text{億円}}$$

$$6.6\text{億} \times 0.44 = \mathbf{2.904\text{億円}}$$

つまり木古内町の介護費用は毎年**約1~3億円**の削減ができる

介護保険制度により町が負担する費用は8.75~11.25%

$$1\text{億} \times 0.0875 = \mathbf{875\text{万円}}$$

$$3\text{億} \times 0.1125 = \mathbf{3375\text{万円}}$$

町が負担する介護費用は毎年**約875万円~3375万円**の削減が期待できる

社会的処方を導入することで、国・町・被保険者の負担が減る！

政策で期待される効果



社会的処方のポータルサイトを作ること
社会的処方のイベントが一目でわかる



デジタルデバイスを活用したイベントで、
町民に理解と興味を持ってもらう



町民がデジタルデバイスに興味と理解を持ってくれば、
DX推進計画がスムーズに進む！

今後の展望

- 高齢者がデジタル機器を使用するモチベーションを上げるために、デジタル技術を活用した楽しいイベントや、友人や家族とのつながりを強化するためのツールの提供などを提案
- 地域のコミュニティ活動への参加を促進し、高齢者が孤立しないようにするための取り組みが必要
- 高齢者を含む住民全体のデジタルリテラシーを向上させるため、定期的な研修やサポート体制を強化できるような政策が必要

